

地域人材ネット

地域ワークショップ方式による集落活性化 事業計画の作成および事業実施支援

橋立 達夫 (はしだて たつお)

作新学院大学経営学部 名誉教授



○ 登録者情報

所在地

栃木県宇都宮市

略歴

1946年東京都生まれ
 1971年千葉大学卒
 1973年千葉大学大学院修士課程修了 農学修士
 民間シンクタンク勤務を経て(株)ヒューレ地域計画工房を設立 代表取締役
 2000年より 作新学院大学地域発展学部(総合政策学部)に改称)教授
 1988年より 国土交通省地域振興アドバイザー
 2001年より 全国町村会 町村の新しい自治制度に関する研究会委員
 2006年より 東北電力まちづくり元気塾ボード会議委員およびチーフパートナー
 2007年 農林水産省 立ち上がる農山漁村～新たな力～ 認定
 2010年より 経営学部教授 内閣府 地域活性化伝道師

著書・論文等

「住民主体の地域づくり」
「まちづくりそしてまちづくりから始まること」
「市民ランドスケープの創造ー中山間地のランドスケープ」
「山村地域の課題と意識改革」
「自立に向けて町村の『多面的機能』を発揮しよう」
「集落活性化事業の新展開と学生の参画協働」 など

○ 地域ワークショップ方式による集落活性化事業計画の作成および事業実施支援

取組の内容

栃木県茂木町を中心に集落活性化事業の計画を、地域住民と行政、大学の学生などを交えてのワークショップ方式で作成し、その事業を試行・実施するまでの支援を行ってきました。茂木町竹原地区の「かぐや姫の郷づくり事業」においては、都市住民による「かぐや姫の郷づくり応援団」を募集・結成し、高齢過疎化の進む集落における荒れた竹林の整備を行うなど、新しい集落活性化の方策を創出してきました。宇都宮市平石地区における「平石ブランドの創造」、茂木町河又地区における農村レストラン「虹色の里あじ彩」、福島県三島町における「エコミュージアム構想」など、実践型のまちづくりを、地域住民とともに展開しています。

実績

茂木町竹原地区においては、人口百人程の小さな集落に、年間5千人の交流人口が訪れるなどの実績を上げ、農林水産省により「立ち上がる農山漁村」の認定を受けました。同時に大学も「立ち上がる農山漁村～新たな力～」に認定されました。また、茂木町と作新学院大学の間で、包括的相互支援協定を結ぶにいたっています。さらにこうした取組が認められて、文部科学省による「現代的教育ニーズ取組み支援プログラム」の採択を受け、大学と地域連携のモデルプログラムとして実施中です。このプログラムでは、農村集落の空き家を借りて大学のサテライトキャンパスとして運用し、集落活性化や学生の実践学習に取り組んでいます。

工夫した点や苦労した点

住民の意見の中から計画を立ち上げること、計画をつくって終わりというのではなく、事業実施までフォローするという方針で対応しているため、相当な時間を割くことが必要でした。また、高齢過疎化の進む山村集落が活動の中心であるため、地域の方々の暮らしがいを高めることと、地域固有の資源を再発見すること、足りないマンパワーや新しい知識を外部の力を導入することにより獲得することに力を入れてきました。



学生たちによる茂木町での竹林整備作業

ひとことPR

「まちづくりとは地域住民の一人ひとりが前向きに生きる状況をつくることなのですね」という言葉を、ワークショップの参加者が聞かせてくれたとき、本当にまちづくりをやっている良かったと感動しました。これからも地域の中にある力を掘り起こす活動をしていきたいと思っています。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
○	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

作新学院大学	http://www.sakushin-u.ac.jp/
--------	---

戻る